

問 高齢社会がどんどん進み、施設への入所者が今後も増加傾向が予測されるが、特別養護老人ホームなどの施設整備整備をどう考えているか。

民生部長 待機者については入所系が主で、その施設整備については、6事業者から提案があり、トータルで172名分が用意されています。

施設整備は、それぞれの地区に、小学校区ごとに現在予定しており、なるべくバランスがとれるような形で、事業者の方に働きかけを考えています。

虐待の実態はあるか

問 高齢社会が進行する中で、家族、身内、施設による高齢者への虐待が増加し大きな問題になっている。高齢者虐待の実態と原因をどうとらえているか。

民生部長 平成19年度に担当課に寄せられた高齢者虐待の相談件数は、延べ472件で、調査の結果、虐待を受けたと認められた高齢者は37人という状況です。

虐待を受ける高齢者の約8割が認知症による問題行動などがあること、家族や地域の介護力の低下、これなどが引き金になっています。

社会的動向を踏まえたまちづくりの課題



市民参画の会
布田 一民

問 だれもが、社会参加できる街づくりを総合的に推進していくためにも、トイレ整備指針計画の作成をすべきではないか。

市長 新たに公衆用トイレが必要という場合については、それぞれまちづくり計画の中で検討していきたいと考えています。

しかし、今の時点では、改めてトイレ整備指針計画の策定までは必要ないのではないかと。

公衆トイレ必要では

問 駅周辺に市として、約500メートルの徒歩圏に公衆トイレ設置が必要ではないか。

市長 まちの形態にもよると思いますが、岩沼では、500メートルというところがすぐでできるかどうか分かりませんが、公衆用トイレとして必要だと思われる箇所があるので、そういうところをまず考えていくことが必要だと思えます。

問 駅周辺に設置するのは、仮設ではなく、だれもが使用可能な「ユニバーサルデザイン的なトイレ」の設置が必要でないか。

市長 駅周辺には、単なる仮設でなく多くの皆さんにしっかりと使っていただけるようなトイレを設けるべきと考えています。



維新
大友 健

JR岩沼駅の公衆トイレ

問 それがないために、現在どんなふうな状況になっていると認識しているか。

市長 これまで利用してきた人たちにとっては、大変不便な状況になり、また、地域の店舗等も含めて影響もあると認識しています。

問 トイレの建設を新年度予算に、あるいは本年度最終補正予算に盛り込めないか。

市長 補正予算という手もあるかもしれませんが、こういうものについては、財源の手あて等がありますので、当初予算で盛り込めればと思います。

土地提供を求めています

問 暫定仮設にせよ恒久なトイレにせよ、駅前の設置場所は限られていないか。JRに土地提供を求めていますか。

市長 いろいろご紹介いただきましたことを踏まえて、十分検討したいと思っています。

観光行政



岩沼政策
フォーラム
渡辺 邦信

問 デステイネーションキャンペーンで、新たな観光資源の開発をどのような視点・姿勢で取り組んだか。

産業部長 歴史的資源や関係者だけで行っていた行事など、これまで光が届かなかったところを掘り起こす姿勢で取り組みました。例えば、貞山運河を船でめぐる小さな旅、竹駒神社関係者のみで開催されていた雅楽を一般市民、観光客に広く参加していただきました。



丸すむマーク
DC宮城・仙台
シンボル

今後の戦略はあるか

問 デステイネーションキャンペーン後の観光戦略として検討されていることはあるか。

産業部長 新たな観光ルートの整備、特産品の開発、それに関係機関との連携強化など課題は

多くあります。特に観光業に携わる方々には、普段からおもてなしができるよう、受け入れ態勢の充実を図っていただきたい。もう一度岩沼に行ってみてほしいと思っただけでなく、ちょっとした心遣いを市民あげて実践していくことが大切と考えます。

その他の一般質問

- 酒井 信幸 ▼安全・安心まちづくり条例
- 長田 忠広 ▼子育て支援
- 大友 克寿 ▼まちづくりへの寄附金活用
- 渡辺 真多 ▼歩いて暮らせるまちづくり
- 須藤 功 ▼排水対策
- 渡辺 ふさ子 ▼農家経営への支援策を求める
- ▼火災警報器の設置条例
- 宍戸 幸次 ▼行財政改革
- 梶谷 洋夫 ▼仙台空港観光特区の誘致
- 後藤 一利 ▼危機管理
- 大友 健 ▼図書館の基本計画
- ▼市長の政治姿勢
- 渡辺 邦信 ▼児童虐待